

日身連

発行所
社会福祉法人
 日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
 発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
デァダクビル4階
 TEL03-3565-3399(代)
 FAX03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of Organizations of the Disabled Persons (JFOD)
 年間購読料 正会員1部 300円
 非会員1部 1000円

令和3年度報酬改定検討チームとのヒアリングに参加

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定に向けた検討が、障害福祉サービス等報酬改定検討チームで本格的に始まりました。検討を進めるにあたっては、現場の実情を踏まえた議論の必要

性から46関係団体とのヒアリングが実施されることになりました。日身連は、7月21日の第2回目に阿部一彦会長がオンライン出席し、4つの視点に対する意見提案を行いました。

4つの視点	日身連の要望
より質の高いサービスの提供をしていく上での課題、対処方策・評価方法	当該制度の対象範囲に含まれない職員への処遇改善や福祉専門職の対象の拡大、就労継続支援B型事業所の報酬単価の見直し等
地域で利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を受けられるようにするためのサービス提供体制の確保に向けた課題、対処方策	医療的ケアを伴う重度障害者の生活介護の受入促進のための方策、重度障害者対応型GH設置の促進等
障害福祉サービス等に係る予算額が障害者自立支援法施行時から3倍以上に増加し、毎年10%弱の伸びを示しているなかで持続可能な制度としていくための課題。対処方策	地域生活支援事業における自助グループ活動の育成・支援体制の整備、悪天候等によるサービス利用のキャンセルに対する措置の検討
新型コロナウイルス感染症による影響	収入減への補償、環境変化による不安感是正のための相談支援の充実、施設に対するPCR検査等の実施に係る費用措置等

7月9日から開始したヒアリングは8月7日ですべて終了し、その後、ヒアリングでの意見の取りまとめと論点整理を行い、各サービスの報酬等あり方や横断的な報酬等のあり方について検討が行われる予定です。今年末の令和3年度政府予算編成までには、報酬・

https://www.rnhlw.go.jp/stf/shingi/other-syougai_446935_00001.html

自民党ユニバーサル議連に要望書を提出

6月23日(火)、自由民主党ユニバーサル社会推進議員連盟が衆議院第一議員会館ホールで開催され、各省庁からの障害者政策への取り組み報告及び令和2年度予算の説明がありました。

日身連からは、①5月の改正バリアフリー法を受け、障害のある人の視点を反映したソフト施策の取組強化や個別施設のさらなるバリアフリー化にむけた公共事業者等の取組を進めること
 ②当事者の声を反映した、個別計画策定の義務化をはじめとする防災減災の取組の推進③ICT活用によるバリアフリー化の推進④障害を理由に偏見や差別による不利益が行われない新型コロナウイルス対策を強く要望し、各省庁から要望1点ずつについて、回

基準に関する基本的な考え方の整理、取りまとめが行われます。
 日身連を含め、今回のヒアリングに出席した団体の資料については厚生労働省の関連サイトでご確認ください。



答をいただきました。
 日身連では引き続き、地域で安心して社会参加できる環境促進にむけ、障害者団体との連携による取組を積極的に進めていただくよう働きかけていく予定です。



ユニバーサル社会推進議員連盟の様様 (DPI日本会議提供)